

# 自転車のブレーキのかけ方

## まず左手のブレーキ(後輪)、次に右手のブレーキ(前輪)の順に操作

日頃から使っている自転車などの車輪付きの乗り物の、回転を止める唯一の手段はブレーキ。  
命を預けている部分のわりに自転車のブレーキの正しいかけ方を知らないまま自転車に乗っている方が多数います

自動車のブレーキは一つですが、

自転車のブレーキは、二つあり、  
前輪と後輪で独立した構造になっています

メインのブレーキは後輪(後輪のブレーキは前輪より強い)  
前輪はサブブレーキです。

メインブレーキの後輪はハンドルの左手で操作  
サブブレーキの前輪は右手で操作します。

自転車に乗っていて急な坂道などで急停車の為にブレーキをかけることがあります。

ブレーキはまずメインブレーキの後輪をかけ(左手で操作)  
次に、サブブレーキの前輪(右手で操作)にいきます。

この順番を間違い、右手のブレーキ(前輪)を先に強くかけると  
自転車は前面に一回転することがあり、大変危険です。

まず 左手のブレーキ(後輪)1  
次に 右手のブレーキ(前輪)2  
の順番に操作する



ロッド式リムブレーキ(前輪)